

# 木造都営住宅

野鉄工機の型紙をお求め頂きありがとうございます。

## ・型紙の特徴

本品型紙は、鉄道模型を製作される際の参考となるよう、必要なケガキ線を素材に印刷するための線画データ、及び解説文のデータです。本品だけで完成させることはできません。素材となる用紙等、屋根や窓ガラス、窓の扉や濡れ縁などの各部のディテール製作用の素材、塗料、工具などを、必要に応じて別途御用意下さい。

## ・想定している印刷用紙

本品は、主要部分について厚さ 0.3mm 程度のケント紙に印刷して製作することを想定して設計しています。なお、木製の扉の部品等、より薄い用紙を使用の方が良好な仕上がりとなる場合がありますので、適宜御選択下さい。

## ・本品の部材の構成

本品に含まれるデータは、建物壁面の構成部品のケガキ線です。壁面は 2 枚重ねで窓枠、下見板等のディテールを表現します。屋根の部材は含まれませんので、別途御用意下さい。

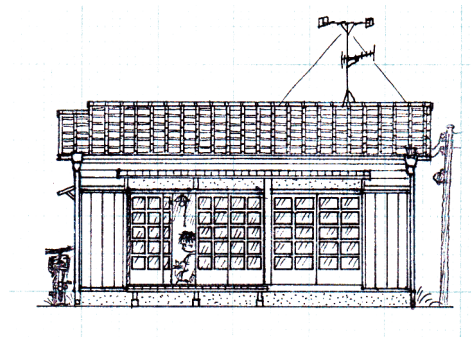
## ・本品の製作時期

本品の元データは、2001 年に、原寸手描きで製作したものです。当時の資料や制作環境、設計精度の制約により、寸法や記載内容に

不正確な点がございます。悪しからずご承知置き下さいませ。

## ・模型のプロトタイプ（実物）に関する補足事項

本品型紙は、東京都住宅局の事業概要に掲載されていた間取図を基に、外観や建具形状については近似する事例に沿って模型化しています。外壁は妻板上部の漆喰壁部分を除き下見板張り、屋根はセメント瓦葺き、風呂無し、トイレは汲み取り式で、汲取り口はトイレ外側の建物が入隅になった箇所にあります。南面の窓には濡れ縁と深い廂が付きます。北面の台所窓には換気扇を後付けする例が多く見られました。



## ！注意

本品は、鉄道模型の知識の無い方には適しません。各種工具や塗料、接着剤などを使用される際は、それぞれの説明書を良くお読み下さい。



組み立て方

- ① 下見板を表現するため、外板の点線に沿ってマイクスラバ-キヤムなどで凹凸を付けます。(下図)



(窓間柱部は不要です。)

- ② 戸袋・内貼の破線部に 鉛筆等で筋を付けます。(鏡線は貼り合わせの際の補助線ですので不要です)
- ③ 窓・戸を切り抜きます。細かい

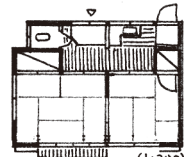
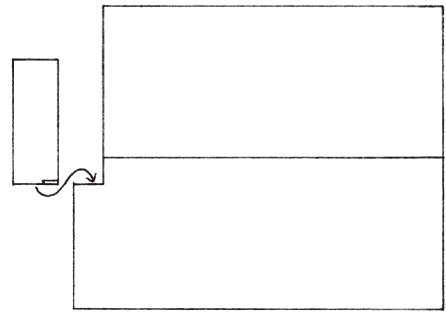
筋は一応書き入れておきましたが実際に切り抜くのはほとんど不可能なので適宜 既製の印刷窓枠等と交換して下さい。

- ④ 周囲を切り抜きます。
- ⑤ 外板と内貼を貼り合わせます。
- ⑥ 組み立てます。角は角材等で補強、戸袋はボルト等で裏打ちして下さい。
- ⑦ 下地処理をして塗装します。
- ⑧ 墨根材は本品には含まれませんので、市販の瓦根などを右の型紙の寸法に合わせて切断し作成して下さい。

実物

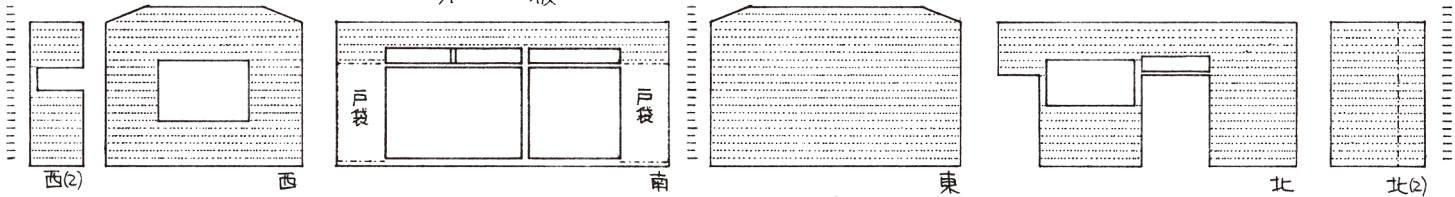
1950年代に都内に大量に建設された木造の都営住宅のうち、広さ8.5坪、一戸建のタイプ。居住者の手で増改築が加えられながら長く使われてきたが1980年代に建て替えが進み、現在は

ほとんど現存しません。また、民間でも類似の型態の借家がたく建てられ、こちらは各地で今もその様子を見る事ができます。

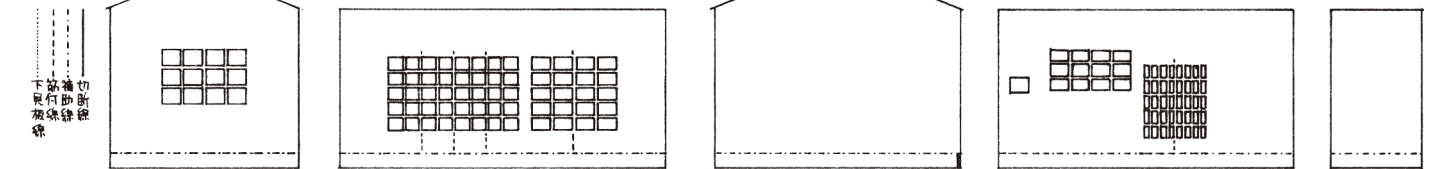


(1:300)

外 板



内 貼



- 本品の他に必要な材料
- ・窓硝子用のガラス板
- ・厚根瓦葺
- ・ポリ紙、角材等 (少)

